

2018年度 日本生活学会事業報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

I. 事業活動

- 第45回総会・研究発表大会開催
2018年5月26日(土)、27日(日) 慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス
- 生活学プロジェクトの運営
- 生活学カフェの運営 2018年3月23日(土) 日本女子大学目白キャンパス新泉山館

II. 役員会開催

1. 理事会 5回
2. 『生活学論叢』vol.33、34 編集委員会 8回
3. 今和次郎賞2018選考委員会 3回
4. 日本生活学会研究論文賞2018選考委員会 1回
5. 日本生活学会博士論文賞2018選考委員会 1回

III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2018年5月 「第45回研究発表大会梗概集」
- 2018年9月 『生活学論叢』vol.33
- 2019年4月 『生活学論叢』vol.34
- 『日本生活学会フィールドワークシリーズ』
- 日本生活学会メールニュースの配信

IV. 委員会活動

1. 総務委員会 委員長 藤木竜也

(1) 第45回総会の開催 2018年5月26日 於：慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス
2017年度事業報告、同収支決算報告、2018年度事業計画案、同事業予算案作成
今和次郎賞(1件)、日本生活学会研究論文賞(1件)

(2) 大会(公開シンポジウムならびに口頭発表)開催
2018年5月26日、27日 於：慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス

(3) 理事会運営 5月26日、7月21日、10月20日、1月26日、4月13日

2. 学術委員会 委員長 中野紀和

(1) 日本生活学会第45回研究発表大会が、慶応義塾大学藤沢キャンパスにおいて、5月26日(土)、27日(日)に開催された。「移動の生活学」をテーマとした公開シンポジウムが実施されるとともに、生活学プロジェクト成果報告を含む48件の研究発表が行われた。

(2) 研究者の育成、支援の一環として、第5回の日本生活学会博士論文賞の審査を行い、受賞者1名を決定した。

3. 『生活学論叢』編集委員会 委員長 高田知和

- (1) 『生活学論叢』を年2回発行として、刊行を行なった。
第33号 2018年9月発行
第34号 2019年4月発行

4. 事業委員会 委員長 土居 浩

(1) 研究助成事業「生活学プロジェクト」の第4回を実施した。応募7件すべてを採択した(助成

金あり4件／なし3件)。うち1件がやむをえず中断したものの、ほか6件は無事に遂行された。研究発表大会への応募・論叢への投稿等々、成果還元も順調である。

(2) 事業委員主体の企画として、他委員会の理事と協力し、2019年2月23日に生活学カフェを実施した。

(3) 各種事業に対する状況確認・制度支援については、一部につき改善に取り組んだ。

5. 情報委員会

委員長 真鍋陸太郎

(1) ウェブサイトの運営 適宜会員向けの情報発信を行った。

(2) メールニュースの運営 適宜会員向けの情報発信を行った。

(3) フェイスブックの運営 適宜会員向けの情報発信を行った。

(4) 日本生活学会の100人 若手学会員等を対象にインタビューを行い、5名分の記事を作成してウェブサイトで公開した。

V. プロジェクト活動報告

1. 生活学ヘリテージ・プロジェクト

代表 小林多寿子

(1) 生活学ヘリテージ・プロジェクトの広報につとめた。

2. 『日本生活学会フィールドワークシリーズ』作成プロジェクト

代表 石川 初

(1) 活動年限5年間の最終年度の企画として、これまで研究・教育の一環としてフィールドワークを実践されてきた会員に執筆を依頼し、フィールドワークへのブックガイドを編集、印刷した。冊子は生活学論叢に同封して会員に送付したほか、ウェブサイトで公開する。

以上